

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立海津特別支援学校

学校番号	111
------	-----

自己評価

学校教育目標	かけがえのない いのちの つながり 児童生徒がもつ可能性を最大限に伸ばすことができるように (1) 児童生徒一人一人の障がいの状況や、発達段階等に応じたきめ細かい教育を行う。 (2) 仲間と共にとくましく、明るく生きる力を育む。 (3) 一人一人が社会自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能を培う。
評価する領域・分野	「教員の実践力と専門性の向上」「進路指導」「保護者や地域との連携」
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートの回収率は93.8%ある。また、90%以上「よい」と評価された項目が40項目中34項目あり、概ね良い結果である。 ・昨年度と比較し、高い評価に転じたものは「教育活動」「生徒指導(いじめ)」「交流活動」「教育目標」の4項目である。 ・「よい」評価が90%を下回った項目は、「進路指導」「安全管理」「保護者、地域との連携」「働き方改革」である。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な「つながり」を構築することが子どもたちの成長を支えることにつながる。「学校(教員間)」「保護者」「地域の方」「関係機関」との関係性を深め、質の高い教育を目指す。 ・教員の資質・能力の向上を目指す。 ・進路について情報発信し、進路指導の充実を図る。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・校内分掌の活性化 ・各学部での取組 ・保護者との連携 ・校内研修の充実と様々な研修への参加 ・外部との連携
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共生する学校を目指し、関係機関とつながるための取組 ・教員の実践力と専門性をより高める取組 ・進路指導の充実に向けての取組
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見・感想 ・学校運営協議委員等からの意見 ・学部内・校内における教員相互の評価
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が家庭、地域、社会との連携するために、次の4つの「つながり」を大切にし、一年間取り組んだ。 (1)職員間では、特教研、公開授業兼等、研修に積極的に取り組んだ。 (2)保護者の方には、行事や授業参観に積極的に参加していただき、一緒に支援を考え取り組んだ。 (3)地域の方とのつながりでは、地域と学ぶ防災教育の一環として、学校運営協議会委員の方々と一緒に命を守る訓練を行った。学校の課題を一緒に考えていただくよい機会となった。 (4)関係機関に積極的に情報発信を行った。 ・全校研究会として「自ら考えて動くことができる子を育むための指導支援の在り方」のテーマの下、各学部で実態把握及び授業実践に取り組んだ。 ・進路学習について年間計画を立案し、体験や講話を積極的に取り入れた。また、保護者向けの研修会を行った。
評価の視点	評価
①地域と共生する学校を目指し、関係機関とつながるための取組ができたか。	(A) B C D
③教員の実践力と専門性をより高める取組ができたか。	A (B) C D
③進路指導の充実に向けての取組ができたか。	A (B) C D

成果・課題	総合評価
<p>○公開授業等を通して、地域の小中学校や他校の教員からの意見や感想、事後研究会での意見交換により、自校の成果と課題が明確になった。</p> <p>○保護者の積極的な行事や懇談等の参加により、子ども一人一人の共通理解を図ることができ、保護者と共に支援にあたることができた。</p> <p>○命を守る訓練に、地域の方に参加していただくことで、本校の防災教育及び地域の防災教育について考える機会となった。</p> <p>▲命を守る訓練について、ヘルメットの整備、避難の方法、災害設定等、指摘があった部分を検討し、次年度に繋げていきたい。</p> <p>○道の駅での作業製品販売、各施設への学校新聞の掲示、銀行での美術作品展示、広報かいつへの記事の掲載等、本校から地域に向けて情報発信を行った。地域の方に本校について興味関心をもってもらえた。</p> <p>○全校研究を通して、意見交換を活発に行い、授業を作り上げることができた。</p> <p>▲知見を深め、個々の資質向上のために、一人一授業研究に取り組んでいく。</p> <p>○進路学習の内容の見直しやキャリアパスポートの活用等を通して、より実体験に近い進路学習を進めることができた。</p> <p>▲保護者向けの研修を実施したが、保護者の意識に差があり、参加者に偏りがあった。進路＝卒業後という意識改革を進めるとともに、どの年齢でもキャリア教育の必要性を訴え、進路指導の充実を図りたい。</p>	<p>A (B) C D</p>
<p>来年度に向けての改善方策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながり」を大切にしながら、地域の特別支援学校として、様々な方法で情報発信をし、積極的に関わりをもつ。 ・校内の防災教育の充実を目指すと共に、地域の福祉避難所としての役割を考え、今後の災害等に備える。 ・教員の資質向上のために、自己研修を推奨し、一人一研究授業に取り組み、教員間で切磋琢磨する機会を設ける。 ・自己実現のために進路学習をより充実させる。また、保護者に対し、子どもの将来を見据え、今何が必要なかを共に考えられるよう個人懇談、研修等、情報発信していく。

学校関係者評価 (令和7年1月30日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校運営報告について、「つながり」をキーワードに具体的に4つの実践報告があり、学校のことがよく分かった。個々の障がいに応じて違いがあるため、それに対してきめ細かいカリキュラムを作り、教員の思いを伝えている。教育の原点を見て、感銘を受けた。 ・コロナ禍が明け、新しい取組がいくつかある。今後も、児童生徒の思いを大切にしながら、新しい取組を模索し続けてほしい。 ・PTAとしては、保護者間のつながりが大事だと考える。情報共有したり、些細なことでも相談したりできることも、PTAとしての必要性を感じている。今後も、子どもたちのために何ができるのかを考えて、活動していきたい。 ・各学部の発表は、それぞれの段階に応じて、一人一人が自分なりの方法で表現していた。各学部の目標に向かって、日々の取組の積み重ねが発表に繋がっている。児童生徒が輝けるように見せ場を作り、主体的に取り組んでいた。 ・学校全体がきれいに整えられている。環境が児童生徒の気持ちに反映するため、環境面に配慮することは良い。 ・学校運営委員として、本校について商工会等に情報発信していきたい。また、何等かの形で携わり、協力していきたい。 ・かいづスマイルサポーターとして、年に数回来校し一緒に活動している。もう少し時間を延ばし、協力したい。
